

ようきょう newsletter

vol.3 令和4年10月24日発行

こんにちは。鳥取短期大学幼児教育保育学科です。今回は、幼児教育学科の中でも特徴ある科目の一つである「特別研究」をご紹介します。専任教員のもとで2年生がそれぞれ研究テーマを設定し、1年間研究に取り組み、得意な分野を持つ保育者を目指します。研究成果は、「特別研究発表会」で発表します。

★今年度の「特別研究発表会」は、令和5年1月25日（水）に本学シグナスホールで開催します。

羽根田真弓研究室（専門分野：音楽教育学）

<うたのおにいさんおねえさんスマイルコンサート 2022>

保育者としての表現力を追究するために「うたのおにいさんおねえさん」の実践研究をしています。保育現場や地域で「うたのおにいさんおねえさんスマイルコンサート」の活動をしています。12月26日（月）に倉吉未来中心大ホール「うたのおにいさんおねえさんスマイルコンサート 2022」を開催します。



國本真吾研究室（専門分野：特別ニーズ教育学/障害児教育学）

<障害のある子どもの発達保障>

障害のある子ども・青年など社会的に困難を抱える人の保育や教育について、関連する福祉の立場からも見た課題設定して深めていきます。現場での見学・調査、研究室でのディスカッションも重ね、何が課題で何を解決に導く必要があるのかを提起します。研究を深めるため、様々な研修会や地域活動への参加にも積極的に挑戦。

近藤剛研究室（専門分野：野外教育学/レジャー・レクリエーション学）

<ライフステージにみる「あそび」とその効用>

心の元気を生み出す「あそび」は、乳幼児期はもちろんですが、児童期、青年期、壮年期、老年期等、様々な年代の方々にとっても、生活を豊かにする有意義な時間となります。各ライフステージの人たちが「あそび」に興じることによって得られる身体的・心理的効果や影響について調査・測定を試みます。



菅田理一研究室（専門分野：社会福祉学/子ども家庭福祉論）

<子どもの権利擁護>

子どもを大切にするという考えは、いつ、どのようにして私たちの社会に浸透していったのかを学びます。まずは、身近な福祉現場に残された資料を探し、図書館や資料館等での文献探しなどを行い、それぞれの福祉現場がどのような経緯で現在に至っているのかを整理することを目指しています。



上島逸子研究室（専門分野：言葉/国語教育）

「子どもの言葉と絵本」をテーマに、それぞれの絵本の魅力を読み解き、その魅力を伝える読み聞かせの工夫について研究しています。まずは、読み聞かせの絵本を丁寧に読みこむことから始めます。お話を企画して読み聞かせを実践し、子どもたちの反応を分析したり、保護者アンケートから見えてくることを参考にしたりしながら、子どもたちに豊かな言葉を育む方法を模索しています。



発行 鳥取短期大学幼児教育保育学科

〒682-8555鳥取県倉吉市福庭854

☎0858-26-1811（代）

Mail yokyo@cygnus.ac.jp

URL <https://www.cygnus.ac.jp/>



伊奈公子研究室（専門分野：幼児教育学）

伊奈特研では「遊びは学び」をテーマに、幼児期の子どもが遊びをとおして学んでいること、感じていることなどを事例や実際の姿に関わったり触れたりしながら、見出していこうとしています。また、遊びの体験や附属こども園での実践研究にも挑戦します。環境を通して行う幼児教育や保育の面白さを実感したいと思います。



宮崎百合研究室（専門分野：子どもの造形教育）

子どもにとって造形表現とはどんな意味を持つのだろうか？
手を動かすことでわかる驚きや喜びを感じる造形の楽しさを子どもたちに伝えられるように、実際に「つくる」「かく」活動を通して考えていきます。

青木淳英研究室（専門分野：地域福祉/福祉行政・福祉計画）

地域の子育て環境や地方自治体の保育・幼児教育施策について研究しています。今年度は、北栄町の子育て環境や施策について、フィールドワークをしながら、①子ども・子育て世代当事者、②行政（役場）、③保育専門職・関係者の3者の視点から現状と課題を分析・検討しています。

山村裕子研究室（専門分野：公衆衛生看護学/母子保健）

<保育所入所前からの子育て支援でも、保育者はキーパーソン！>
地域で乳児期の子育てを支える保育者の役割と新たな活動展開を研究しています。
コロナ禍において、家庭訪問(アウトリーチ型)での支援を模索する中で、学生たちが、乳児とのふれあい遊びも実際に挑戦したり、保護者への聞き取り調査を行なって、在宅親子支援への理解を深めています。今年は父親支援を切り口にしています。

仙田真帆研究室（専門分野：教育学/音楽教育学）

仙田特研では、「先生研究」をしています。ベテランの先生と特研究生が同じテーマで保育実践を行い、その比較分析を通して、学生自身の「保育実践力」を高めるべく研究を進めています。今年度は特に、保育者の「視線」に注目し、アイトラッカーを用いた保育者の視線移動の計測を研究手法に取り入れています。

山川智馨研究室(専門分野：音楽教育学)

山川特研では「多様な音楽表現の実践」をテーマに、子ども向けのコンサートを自分たちで企画します。子どもが好きな歌や音楽をどんな風に、どんな順番で演奏するかを考え練習し、実際に子どもたちの前で実践することで、子どもの心に響く音楽表現について見つめていきます。

これまでの特別研究発表会の様子です

